

北海道新幹線倶知安駅舎デザイン案

推 薦 書



倶知安町

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

北海道新幹線建設局

局長 長谷川 正明 様

推 薦 書

令和5年10月17日に貴殿より提案された北海道新幹線倶知安駅舎デザイン案について、町が要望したデザインコンセプト「羊蹄の四季の恵み～ふるさとと世界が出会う駅～」を反映した、新たな町の顔にふさわしいデザインであったことに感謝申し上げます。

町では、駅舎デザインアンケートを実施し意見を募るとともに、北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会において行われた議論を参考にしながら検討を重ね、この度、次のとおり推薦案を決定しましたので、お取り計らいのほどよろしくお願いいたします。

令和6年6月24日

倶知安町長 文 字 一 志

倶知安駅舎デザイン 推薦案



A案

「倶知安の四季とつながる

舞台の駅」

【推薦理由】

- ・デザインアンケートにおいて最も評価が良かった。
- ・大開放ガラスの透明感が、周囲の自然環境との調和を生み出し、要望したデザインコンセプトをよく表現している。
- ・世界から訪れる人々とこの町に暮らす人々の出会いと賑わいを映し出し、世界的なりゾート地の玄関口に相応しい。

【付帯意見】

《外観》

- ・人目に触れやすい位置及び高さにおいては、自然な風合いを感じられるようにしていただきたい。
- ・気候風土との調和という観点から、雪庇などの冬季対策に配慮していただきたい。

《内装》

- ・駅舎の内装に地域で産出される木材などを使用し、外からの駅舎の景色においても、ガラス越しに自然素材を感じられるデザインとしていただきたい。
- ・ホームは、降り立った際におもてなしの雰囲気や自然の温もりを感じられるデザインとしていただきたい。

《全体》

- ・駅舎整備にあたっては、東西駅前広場や駅前通りなど周辺との連続性や調和、機能性に配慮していただきたい。
- ・内装照明等により夜間における外観に暖かみのある雰囲気となるような演出に配慮していただきたい。
- ・意匠性のあるガラスシートは、構内から外を望む景色への影響や機能面等を踏まえ、必要性について慎重に検討いただきたい。
- ・大開放ガラスについて、汚れにくい加工などのメンテナンス性、耐震性に配慮していただきたい。
- ・国内外から訪れるすべての人々が利用しやすい、最新のユニバーサルデザインを取り入れた駅舎にしていただきたい。